

原点をもう一度見つめなおして 次の100年に歩みを進めたい

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。
神戸製鋼グループは、「2003-2005年度連結中期経営計画」に掲げた「オンリーワン・ナンバーワン」製品の創出・育成を着実に推進するとともに、需要の最大限の取り込みと販売価格の改善等に注力したことから、鋼材などの素材事業や電子材料を中心に、業績が大幅に改善いたしました。また、将来に向けて事業競争力の強化を図るため、経営資源の重点投入や各事業分野における提携にも、積極的に取り組みました。

この結果、平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の連結業績は、売上高は1兆4,437億円、営業利益は1,665億円、経常利益は1,160億円となり、3年連続の増収増益となりました。

当期の配当につきましては、株主の皆様への利益還元を基本としつつ、将来にわたり安定配当ができる事業収益力の確立と、財務体質の改善を進めていく観点から、1株につき3円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界的な原油価格の高止まりや資源インフレの懸念など、先行きの不透明感は拭えませんが、当社グループは、需要家の要請にお応えすべく高水準の生産を安定的に維持しながら、各事業分野における販売価格の改善に努めてまいります。

また、平成17年度は連結中期経営計画の最終年度です。「経常利益目標800億円」など一部の数値目標は前倒しで達成いたしました。有利子負債圧縮を始めとする全ての目標につきましても早期に達成すべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

当社は、本年9月1日をもちまして創立100周年を迎えます。明治38年に神戸の地で事業を開始してから今日に至るまで、株主の皆様を始め、取引先、地域社会の方々など関係各位の暖かいご厚情にあずかりまして、深く感謝申し上げます。

今後も、当社およびグループ各社に課せられた社会的責任を誠実に果たしながら、企業価値を更に高めるべく、原点をもう一度見つめなおして次の100年に歩みを進めたいと思います。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



代表取締役社長

犬伏 泰夫